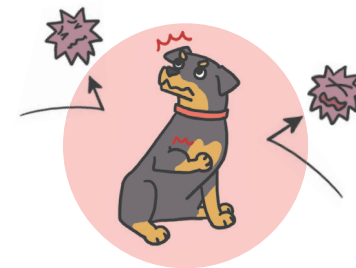


定期的なケアで、危険なウイルスからワンちゃんを守りましょう。

犬に感染するウイルスによる伝染病や寄生虫には危険なものがたくさんあり、抵抗力のない子犬の場合、重症化しやすくなります。どんなウイルスや寄生虫があなたのワンちゃんを狙っているのか、正しい知識を学びましょう。



伝染病

● 犬ジステンパー 死亡率が高い

高熱、目やに、鼻水が出て、元気や食欲がなくなり、嘔吐や下痢もします。死亡率の高い病気で、助かっても神経系が侵され、マヒなどの後遺症が残る場合があります。



● 犬アデノウイルス2型感染症 (犬伝染性喉頭気管炎)

発熱、食欲不振、くしゃみ、鼻水の他、短く乾いた咳がみられ、肺炎を起こすこともあります。他のウイルスとの混合感染により症状が重くなり、死亡率が高くなる呼吸器病です。



● 犬伝染性肝炎

発熱、腹痛、嘔吐、下痢が見られ、目が白く濁ることもあります。子犬が感染すると、無症状のまま突然死することもあります。



● 犬パラインフルエンザウイルス感染症

カゼ症状に見られ、混合感染や二次感染が起こると重症になり、死亡することもある。伝染力が非常に強い病気です。



● 犬パルボウイルス感染症 死亡率が高い

経口感染により、激しい嘔吐、下痢を起こし、食欲がなくなり、急激に衰弱。重症になると脱水症状が進み、短時間で死亡することもあります。伝染力が強く、死亡率の高い病気。



● 犬コロナウイルス感染症

成犬の場合は、軽度の胃腸炎で済むことが多いのですが、犬パルボウイルスとの混合感染では重症化することもある。子犬の場合は、嘔吐と重度の水溶性下痢を引き起こします。



● 犬のレプトスピラ感染症 届出伝染病 動物由来感染症

250種類のタイプがあります。このうち、7種類が届出伝染病に指定されており、イクテロヘモラジー型、カニコローラ型、グリッポチフォーサ型、ポモナ型などがあります。



寄生虫

● ノミ

ノミに吸血されると、かゆみに悩まされるだけでなく、貧血の原因となります。ノミアレルギー性皮膚炎を起こすと、激しいかゆみと湿疹、脱毛などの症状が見られます。



● マダニ

かゆいだけでなく、各種の病原菌を媒介します。近年、マダニが媒介するとされるSFTS(重症熱性血小板減少症候群)で複数の方が亡くなったと報告がありました。



● フィラリア

蚊が媒介してフィラリア症に感染すると、運動を嫌がったり、激しい呼吸困難、腹部の膨張などの症状がみられ、放置すると死に至ります。



狂犬病

● 狂犬病 法定伝染病 動物由来感染症 (狂犬病ワクチンの接種で予防できる病気)

犬や人だけでなくほ乳動物すべてに感染し、発症すればほぼ100%死亡します。最近、海外で感染犬にかまれた日本人が、帰国後に発症・死亡する事例があり、その恐ろしさが再認識されています。



届出伝染病 家畜伝染病予防法に基づき、届出が義務づけられている感染症のことです。

動物由来感染症 動物から人に感染する病気の総称です。厚生労働省は、人への感染経路を重視する観点からこの呼称を使っています。

法定伝染病 狂犬病予防法によりワクチン接種が義務化されています。